

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東海)	◎	一般小売店〔土産〕（経営者）	・当県の一部では学校・寮・クラブ活動等に起因する感染者がまだ多いが、新規感染者数も徐々に減少傾向にあり、今のペースで旅行者が増えれば回復は早い。新型コロナウイルスの早い収束を願うのみである。
	◎	一般小売店〔土産〕（経営者）	・ようやく本当のウィズコロナに移行して、経済を回していけそうである。
	◎	コンビニ（店長）	・政治家がゴールデンウィークは通常どおり行動しても良いと発言するなど、行政側が少し緩くなった。ただし、反動も怖い。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスとの付き合い方を徐々に捉えつつあり、そのなかで商売を行うすべを見込んでいる。
	○	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスも落ち着き、徐々に回復に向かうと思われる。
	○	百貨店（営業担当）	・ウィズコロナの生活様式が少しずつ進み、経済も少しずつ回復が予想される。ただし、ロシアのウクライナ侵攻に伴う物価高が景気の持ち直しを遅らせる要因となる可能性がある。
	○	百貨店（販売担当）	・来客数は回復しつつある様子で販売数も伸びている。ただし、新型コロナウイルス発生前までには戻っていない。
	○	百貨店（業績管理担当）	・ゴールデンウィークの客足が良く、客の購買意欲が高まっているように感じられる。
	○	百貨店（計画担当）	・コロナ禍に対する客の考え方に徐々に変化がみられ、少しずつ外出も増えてきていると感じる。ただし、旅行に出掛けるという声も少しずつ聞かれ、消費が分散する可能性もある。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況は今と変わらない状態で推移していくであろうが、緊急事態宣言などは出ないレベルと見込む。来客数は、夏に向かうトレンドのなかでこれからも伸びていくことが想定される。
	○	コンビニ（店員）	・夏に向けて、来客数の増加が見込まれる。
	○	コンビニ（商品企画担当）	・3回目のワクチン接種の進捗による、移動制限を伴わないゴールデンウィークと夏季繁忙期の到来を想定している。
	○	衣料品専門店（店長）	・人の動きが活発になってきているように感じる。ただし、全ての業種に起きていることではなく、全体に行き渡るまでにはまだ時間が掛かると思う。また、購入の際には不要な物は一切購入したくないという様子なので、消費者の財布のひもはまだ固い状況である。
	○	衣料品専門店（販売企画担当）	・人の動きも良くなるので、多少は良くなると期待している。夏も前年は動かなかったのが、今年辺りは反動があると思われる。
	○	衣料品専門店（売場担当）	・コロナ禍での日常生活として、今後は消費者も最低限の感染防止対策を行いながら、新型コロナウイルス発生前に近い生活に戻っていくと思われる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・勢いがある。問合せが多いと販売量も増えていくと思う。先に向かって良くなるイメージが強くある。確証はないが、良くなっていくと思う。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新車の納期が掛かるため中古車の相場が大幅に上がっており、それに伴い車を短期間で乗り換える人が増えている。そのため、新車の販売台数が伸びてきている。
	○	住関連専門店（営業担当）	・リフォーム、改修等の中規模物件でも引き合いが入り始めている。特に商業施設については、改修工事や新築工事の問合せなども入ってきている。
	○	高級レストラン（経営企画）	・アフターコロナとして、新しい消費、利用方法が見込まれる。
	○	一般レストラン（経営者）	・政府としてもウィズコロナという方法を選択すると思う。そろそろ皆我慢がでせず外へ繰り出すのではないかとと思う。
○	観光型ホテル（経営者）	・5月に県民割が延長されること、3回目のワクチン接種率が50%を超えてきたこと、重症者数が減少傾向にあることから、これ以上悪い要素がなければ、やや良くなる傾向であると思う。2年にも及んだ新型コロナウイルスの影響であるが、これ以上強力な感染拡大がなければ、なだらかに良くなっていくと思う。	
○	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスも収束に向かい、予約が入り始めると思う。	

○	都市型ホテル（営業担当）	・このままワクチン接種済みの人が増え、飲み薬等も出ることで新型コロナウイルス発生前に回復していくと期待している。3か月先には70%程度の回復を見込んでいる。
○	旅行代理店（経営者）	・人流の回復に期待を持っている。コロナ禍の緩和へのシフトを望む。
○	旅行代理店（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染が収束していけば、少し回復してくると思う。5月には県民割等が始まるため期待している。
○	旅行代理店（営業担当）	・ゴールデンウィークが終わった頃の新型コロナウイルス感染拡大は不安要素であるが、Go To Travelも再開に向けて大詰めとなっており、法人対象のキャンペーンが始まれば確実に団体旅行が動き始めるので、期待ができる。
○	旅行代理店（営業担当）	・団体旅行の活性化は見えてきているが、動き出しは都市部からと考えているため、地方では1～2か月の時間差があると想定する。
○	美容室（経営者）	・2～3か月後は真夏に入ってきて髪も伸びてくるため、客には、新型コロナウイルスに負けずに足を運んでほしいと思う。
○	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・コロナ禍での過ごし方が順応できつつあるので、新型コロナウイルス発生前まで回復することを期待している。
□	商店街（代表者）	・ゴールデンウィークで人が移動するため、新型コロナウイルスの新規感染者数も横ばいか少し増加すると思うので、状況は余り変わらないと思う。
□	商店街（代表者）	・コロナ禍では先は読めない。
□	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・3か月先も今と状態は変わらない。コロナ禍においては、世の中の動向をきちんと見て、自分に有利な物やためになる物には頭を使いながら金を使っている。余り無駄遣いはしない。消費はある程度伸び自分のためには大きな買物もするが、誰かのために金を使うところまでは回復しない。
□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・コロナ禍やウクライナ情勢に起因する酒類等の値上げが飲食店での値上げにつながり、飲食店の利用客は更に足が遠のくと予想する。
□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価の上昇で景気の先行きは懸念されるが、身の回りの景気は、しばらくこのまま推移すると思われる。
□	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
□	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・4月に入ってからのもろもろの値上がりで、日用品の買い控えを感じる。しばらくはこの状態が続くように思う。
□	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルスが収束するか、ウクライナ情勢がどうなるかや国内のインフレがどうなるかなど、非常に読みづらい。
□	百貨店（売場主任）	・皮の原価が値上がりしたのか少しずつ商品は値上がりしているが、価格を気にしないで購入する客も多い。しかし、まずは商品が入ってこない。工場が変わったり飛行機が飛ばないなどで海外からの商品が入ってこないため、客は購入したいが商品がないため売上につながらず、厳しい状態がまだ続くと思う。
□	百貨店（企画担当）	・食料品と高額品は戻ってきているが、中間層が主力客のファッション衣料雑貨関連の苦戦が続いている。新型コロナウイルスの影響は少なくなってきている感はあるが、新たにウクライナ危機の影響により購買意欲の低下が継続すると思われる。若者向けのショップは売上が戻りつつあるが、中高年向けのブランド、ショップは厳しい状況が続く。
□	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染リスクが後退して観光・飲食関連のリベンジ消費が期待される一方で、資源価格の急騰に伴う物価上昇やウクライナ紛争の長期化が景気回復の足かせとなると考える。
□	百貨店（販売担当）	・約3年ぶりの規制のないゴールデンウィークということで、来客数の増加を期待できるが、モノよりもコト消費の傾向が強くなっているため、大きな回復には至らないと感じる。
□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染症対策として飲食店では客席数を減らしての営業となっており、席数を元に戻さない限り、これ以上の売上増加は困難と思われる。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・ゴールデンウィークを迎えるが、高止まりしている新型コロナウイルスの感染状況により外出などが手控えられる雰囲気を感じる。これから旬を迎えるスイカは、想像以上の高値なので、不安を感じる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・良くなるとも悪くなるともどちらともいえず、分からない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・商品の値上げはまだ続く。来客数アップは、新型コロナウイルスの動向次第で不透明であるため、買上点数アップの施策、関連販売や商品説明の表示などを行っていく。ヒット策が出るかが鍵である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（企画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数は大きく減少することはなく、夜間の人出はまだ戻っていない。この状態が続くとすれば、足元から余り状況は変化しないと思われる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスに対する規制が現状程度であれば、それほど大きく変わることはないと思う。例えばマスク着用の緩和や外出自粛の緩和等を政府が発表すれば、多少は変わると思う。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・パンなどの食品やビールの値上げが発表され、新型コロナウイルスの新規感染者数もなかなか減らない状況では、先行きが明るいと考えるにくい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・今年になって売上は高水準で推移しており、これ以上上がる要素も下がる要素も特にないため、今の状態が続くと予想している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきたことで、来客数は増加し、前年を超える動きを見せている。しかし、原材料価格の高騰や生活にまつわる料金の改定が続くなかでは、楽観視できない。第7波が騒がれていることもあり、先行きは不透明である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・夏物は比較的単価も値ごろなので、商品が動くと思う。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・来客数が増えていないので、余り売上が伸びそうにない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・円安と物価高の影響が続く。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・今月は例年より暑いためエアコンが売れたが、来客数自体は前年並みで新型コロナウイルス発生前の水準までは戻っていない。ワクチン接種以外の対策が打ち出せないまま、新型コロナウイルスの直接的な影響のほかに東南アジアでのロックダウンによる品薄や物価高など間接的な影響も大きくなり、新型コロナウイルス発生前の売上に戻るのはまだ先と思われる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてきて、外出や旅行に行く人が増えるので経済活動は良くなってくると思うが、原油価格の高騰や食品などいろいろな物の値上げで、プラスマイナスゼロという感じである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・当分この状況は変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・半導体不足に加えてウクライナ情勢や上海のロックダウンによる部品供給問題が浮上している。新車供給の遅れに拍車が掛かっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・これから先もガソリン価格や電気・ガス等の生活インフラ料金の高止まりが続くならば、高額商品に対する財布のひもはなかなか緩んではくれないであろう。客の購買意欲を刺激する店頭誘致にも新型コロナウイルス感染防止対策との絡みで余り多くを望まず、まだまだ厳しい市場環境が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・客と話をしていると、ゴールデンウィークも余り金を使わない傾向にあるようで、従来のような急な落ち込みはなさそうである。受注残の分が順番に入荷してくれば最低限の売上にはなるが、多くは見込めない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [貴金属]（経営者）	・これからゴールデンウィークもあり、期待感を持つ。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、円安、ウクライナでの戦争、金地金・宝石や舶来腕時計など材料、仕入価格の高騰があれば、値上げせざるを得ない可能性が大きい。

<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター] (経理担当)	・売上は、前々年比マイナス9.5%、前年比マイナス1.1%、来客数は、前々年比マイナス17.8%、前年比マイナス6.5%である。回復はしているが、まだ前々年の水準に達していない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (従業員)	・団体での食事の規制が解除されないと難しい。
<input type="checkbox"/>	バー (経営者)	・分からない。大型連休明けの新型コロナウイルスの感染状況次第である。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [仕出し] (経営者)	・様々な問題で解決の方向性がみえてくるか、あるいは常態化してブレイクスルーしていくのか、いずれにしても時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	・接客の際にガソリン代や光熱費の高騰について言及する客は増えているが、足元では購買単価や購買数への影響は少ない。今後の値上げを見据えて、むしろ今は買い時と考えている客も多い。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (支配人)	・県民割のお陰で確かに個人予約は若干戻ってきているが、自県内だけでは広がりがなく、せめて隣接した県までを範囲内にしてもらいたいと切願している。2~3か月後の予約は前年の2倍以上入っているが、予算比では60~70%と相変わらず低迷しており、新年度のスタートダッシュからは程遠いと言わざるを得ない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (経営者)	・今後、まん延防止等重点措置が適用されなければ、このまま旅行業界も前進できると思う。Go To Travelに期待していたが、今のままでも客は動くので開始には慎重になってほしい。Go To Travelは閑散期に実施すべきである。また、1人1回など制限を作るべきかもしれない。ワクチンの3回接種を確認するのはひと苦勞だと思う。海外旅行は、できればもう一步緩和してくれないとワクチン接種証明書の手続や帰国前PCR費用等いろいろ大変で、海外旅行のハードルは高い。空港の国際便は人気路線のほとんどが復活未定なのでこの夏も海外旅行の取り込みは厳しく、どのように夏休みの商品を販売するかが課題である。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・悪いままで推移している。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・3か月後がどうなっているか見通しが立たないが、新規感染者数が増えないことを祈っている。いろいろ食品などでも輸送料が高くなって値上げの話が出ているし、ロシアからの木材などの材料費も相当高くなっていて住宅関係にも問題が出てくると思われ、不安材料がたくさんある。特に身近に感じているのはガスや電気の料金改定で、年金受給者が一番困るのではないかと思う。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (企画担当)	・新型コロナウイルスの閉塞感からは抜け出つつあるかもしれないが、依然として半導体不足や原油高の影響は続いており、良くなっているといえるほどの景気の回復は見込めない。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (サービス担当)	・ゴールデンウィーク明けには新型コロナウイルス新規感染者数が増えることを見越して、企業向けにリモートワークの導入を推奨しているため、各家庭でも高速ネット回線が必要不可欠になれば、通信業界では今後の景気も良いと思われる。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク (職員)	・先の見えないコロナ禍で、不安定な状況が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	レジャーランド (職員)	・県民割は対象者が県民のみに限定されているため、効果は限定的である。ブロック割への範囲拡大となれば集客促進の効果が期待できる。当面は、現在の水準が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	観光名所 (案内係)	・新型コロナウイルスの感染状況が大分落ち着いてきたように感じる。このままの状況であってほしいが、各部門全てで値上げの世の中になってしまい、この影響がどこまで響くかだと思ふ。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場 (支配人)	・今後の入場者は各ゴルフ場共に順調に予約が入っている。6月に入ると梅雨の影響も受けるが、現時点においては、このまま良い方向で推移すると見込む。
<input type="checkbox"/>	美顔美容室 (経営者)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減らなければ、このままの状態が続く。
<input type="checkbox"/>	美容室 (経営者)	・やはり新型コロナウイルスの影響である。風邪薬のように新型コロナウイルスの治療薬ができれば変わらと思う。
<input type="checkbox"/>	設計事務所 (職員)	・政治家の話にも、景気の良くなる政策や話題はない。

□	住宅販売会社（従業員）	・横ばいが続くと思われる。
▲	商店街（代表者）	・ウクライナで戦争が起こり、天然ガス等が世界中で不足するため、悪くなると思う。
▲	商店街（代表者）	・これまではコロナ禍の影響であったが、現況は世界情勢も踏まえて各所で原材料が値上がりするなど、ほとんどの商品が値上がり傾向なので、客は生活に手一杯となり、なかなか当社商品にまで手が回らないという感覚を持っている。
▲	商店街（代表者）	・電化製品の値上げが著しく、この状況が続けば、消費者の購買意欲が下がるのは間違いないと思う。
▲	一般小売店〔高級精肉〕 （常勤監査役）	・物価高が現実の問題として実感できる。
▲	一般小売店〔書店〕（営業担当）	・為替の影響が出てくると思う。
▲	百貨店（総務担当）	・ガソリンの価格高騰や各種値上げなどもあり、消費者の財布のひもは更に固くなると想定される。また、ゴールデンウィークは外出や行楽に金が回りそうであり、消費を引き上げる要因が乏しい。市内においてはプレミアム付商品券が発行される予定であり、その効果に期待したい。
▲	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が余り読めないが、現在よりも新規感染者数が増加して何らかの規制が掛かり、来客数が減少しないか心配している。
▲	スーパー（店長）	・商材値上がりによる過当競争が懸念される。
▲	スーパー（店長）	・今後も物価上昇が続く一方で給与は増えないので、金の回りは悪くなる可能性がある。
▲	スーパー（店長）	・今後更なる値上げが予想されることから、節約意識が一層高まると思われる。
▲	スーパー（店員）	・再値上げの要請のあるカテゴリーもあり、更なる買い控えが予想される。
▲	スーパー（営業企画）	・新型コロナウイルス感染症対策と経済活動との両立は今後更に進むと見込まれる。外食機会が増えることにより、食品の売上にとっては逆風となる。また、ウクライナ情勢による各種商品の値上げにより、消費は引締め傾向になるとと思われる。
▲	スーパー（総務）	・来客数、買上点数は少しだが良くなっている。土日は家族連れでの来店が目立ちにぎわいがあるが、5月以降の商品値上がりが懸念要因で、売上の減少が予想される。
▲	スーパー（販売担当）	・世界情勢に改善が見込めず国際貿易に支障が出るのは必至で、食料不足が更なる国際関係での支障をもたらしかねない。円安や金融政策の悪い影響が、小売のいろいろな部署に出てくる懸念がある。また、気候不順が需給バランスに一層影響しそうである。
▲	コンビニ（本部管理担当）	・ロシア・ウクライナ情勢で物価が高騰している。現時点でも商品価格の値上げや電気代の高額負担など影響が出ている。この状況は改善される兆しがなく、新型コロナウイルス以外の理由で先々の景気悪化を懸念している。小売業態では利益の捻出に苦戦すると予測する。
▲	衣料品専門店（売場担当）	・例年これからの時期は暑くなるため、スーツを上下で購入する客はどうしても減ってくる。ワイシャツやスラックスだけ単品で購入する客や枚数をそろえてセットで購入する客が増えてくる。重衣料と比べると客単価も下がるため、スーツが入用となる繁忙期とは異なってくる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・エネルギーや食品等の価格上昇が相次ぎ、出費抑制の流れになるのではないかと。
▲	乗用車販売店（従業員）	・ゴールデンウィークで人がかなり動いたため、また新規感染者数が一気に増えるかもしれない。また、重症者は少ないが感染した人は皆かなり苦しい様子で、以前よりも新型コロナウイルスに感染したくないと考える人はむしろ増えていると思うので、景気は悪くなっていく。
▲	一般レストラン（経営者）	・ウクライナでの戦争の状況がとても心配である。国内では、諸物価が上昇すると考えると、給料が上げれば別だが、これから先に景気が良くなるとはとても思えない。
▲	一般レストラン（経営者）	・ロシアによるウクライナ侵略がいつまで続くか分からない状態である。身の回りでは、原材料費の値上げなどが一般家庭にも重くのし掛かると思う。会社の商品自体は主にし好品を扱うので、少し心配している。

	▲	旅行代理店（経営者）	・県民割は5月末までの延長が決まっいてそれまでの好調は維持できるが、それ以降は不透明である。
	▲	旅行代理店（経営者）	・円安、ウクライナ問題、中国のゼロコロナ政策や米国の金利引上げなどの外部要因もあり、様々な生活物資が値上がりしている。6月までは値上げしないと宣言する大手スーパーの広告は、逆に6月以降は値上げするという告知である。大幅な賃金引上げが期待できなければどこかで節約を強いられる。インバウンド客の受入れを早期に開始しなければ、宿泊や外食業などの回復は期待できない。
	▲	テーマパーク（職員）	・インバウンドが見通せるようになるまでは難しい。
	▲	パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響から脱しておらず、監督官庁の規制強化の影響も続いて厳しい。
	▲	理美容室（経営者）	・客との話では、いろいろな物価が上がって余り来られないということであった。
	▲	美容室（経営者）	・4月からいろいろな物が値上がりしているため、客は我慢できるものは我慢するという傾向になりつつある。
	▲	理容室（経営者）	・この頃は次から次へと予想外の事案が出てくる。我々はどうしようもない。
	▲	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・仕入原価が上昇しており取引先からの値上げ案内がますます増えていくと想定する。一方で当社事業の介護保険サービスである福祉用具レンタルの価格は、上限価格が設定されているので値上げは不可能である。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・メーカーの人気ではなく企業としての力量の差が、住宅設備の導入力の差となる可能性が高い。危機的状況になるビルダーが増えるのではないかと心配している。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・ウッドショックに加え、原油価格の高騰や建築材料費の上昇が経営を圧迫している。3か月先には、全ての資材が上がるのではないかと心配している。
	▲	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・4月には年度末までに経費を消化しきれなかった残工事があったが、5月からは少し落ち着くようである。
	×	商店街（代表者）	・急激な物価の上昇や可処分所得が増えない影響により、消費行動はかなり控えられそうである。ウクライナ情勢が長引くほど、不景気が進行すると思われる。
	×	スーパー（支店長）	・コロナ禍に加えてウクライナ紛争による物価上昇や円安等、消費に対して消極的になる要素ばかりで、収入の増える見込みもなく、ますます買い控えに拍車がかかる。したがって、商いも決して良い方向に向くとは思えない。
	×	コンビニ（店長）	・仕入価格の上昇を価格転嫁せざるを得ない。燃料価格の高騰で配送経費も増加し、売上が減少傾向にあるなかで、とても厳しい。
	×	コンビニ（エリア担当）	・原材料価格の高騰から商品を値上げせざるを得ない状況が進み、客の購買意欲は大きく低下すると予想される。
	×	乗用車販売店（販売担当）	・現時点でも在庫がないが、今後は生産台数がより絞られてくるという話のため、今後もより一層厳しい状況が続くと思う。
	×	通信会社（営業担当）	・まだ現状が続くと思う。
	×	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・ウクライナ紛争の影響がかなり出てきたところへ、昨今の円安が追い打ちを掛けてきている。木材や資材関係への影響がかなり大きい。数か月後には必ず目に見える形で現れるので、マインドも冷え込みつつある。
	×	設計事務所（経営者）	・種まき案件もないため期待はできない。さらに、過去の案件請求でかなりのコストダウンを要求されている。
	×	住宅販売会社（経営者）	・分譲住宅用の建築資材の値上がり、土地の値上がりで、この先どうなるか不安で一杯である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・建築業に携わっていた30～40代の職人にも、建築業の将来を悲観して転職する人が増えている。
企業動向関連	◎	輸送業（エリア担当）	・荷物の増加に対して前年は経費を大幅に増やしてしまった。その反省から適正な経費に抑えるように強力に押し進めている。また新しい循環が始まると思う。
(東海)	○	食料品製造業（経営企画担当）	・人流も徐々に戻りつつあり、消費が拡大することを期待したい。我々食品業界は、これまで家庭内食の需要に支えられてきたが、外食業界の復活にも期待をしたい。

<input type="radio"/>	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、サービス業界の復帰が期待できる。新規感染者数の連日報告よりも重症者数とその年齢や持病内訳の報告を最優先し、ワクチン接種の啓発を継続すべきである。これにより、どんな業界でも人流の密度を緩和して経済活動を元に戻せる。いつまでも心配を増長させていても世界は同調していないし、我が国だけ周回遅れとなるリスクがある。
<input type="radio"/>	金融業（従業員）	・今後の新規感染者数に影響を受けるかもしれないが、ウィズコロナでの景気回復になると思う。
<input type="radio"/>	金融業（従業員）	・まん延防止等重点措置等に伴う規制が一旦解除され、皆の動きが比較的上向きとなっており、ゴールデンウィーク等も重なり一般の人にも外に出ることで、景気自体も上向きになっていく。ただし、円安が将来のインフレ材料として懸念されるという話題もある。
<input type="radio"/>	広告代理店（制作担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあり、夏に向けてのイベント企画等が微増していくと思われる。
<input type="radio"/>	会計事務所（職員）	・自分も含めて、旅行に行こうという話を聞く。新型コロナウイルス感染症対策に気を付けながら、少しずつ活動範囲を広げつつある。
<input type="radio"/>	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・全体としてはまだまだ良くないと考えているが、当社の新製品は高く評価され、5月は来客が多くなる。休み明け早々には2社の訪問がある。2か月後には、工場で稼働できる商品を作成する見込みである。
<input type="checkbox"/>	食料品製造業（営業担当）	・良くなる要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	化学工業（総務秘書）	・当面は新型コロナウイルス対策の我慢から解放されたい気分で消費をする。企業業績は実力の世界で勝敗や明暗は分かれるが、それだけでは景気の良しあしを判断しにくい。円安で国力の低下が示され、ウクライナ戦争を通じて安全保障は国家存亡の問題と感じられる。中長期的には非常に大きな課題に取り組まなければならない、アフターコロナでは国民の生活や仕事の仕方が大きく変化していくと思われる。
<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・仕入価格がまだ上がりそうな話を聞いている。引き続き販売量や引き合いも少なく、期待はできない。
<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから判断する。
<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（営業担当）	・引き合いや受注は増えたが、入手できない部品があり設備が出荷できない。輸送費が高騰しているため、円安ではあるが利益が出にくい状況である。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かうという希望のなかで仕事量が増えるという期待はあるが、年配客の利用が減少しており以前よりも客先業界の利用人口が少なくなっているため、余り期待できない。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（営業担当）	・良くなる要因も余りないが、悪影響も今のところ小さい。
<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・生産スケジュール上でも、しばらく良くなる傾向は特にない。
<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・しばらくの間は半導体不足の影響が出ると思われ、ロシアで完成車を造らないことからロシア向けの部品も減っていくため、今のような状態が続くのではないかと見込む。
<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・ウクライナとロシアの問題や新型コロナウイルスで世情も不安であり、現時点ではどうなるか想像が付かない。
<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・トラックの新車不足、燃料費高騰並びに輸出入の混乱は、しばらく続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	輸送業（エリア担当）	・コロナ禍とロシアのウクライナ侵攻の影響で、貨物の動きが読めない。
<input type="checkbox"/>	通信業（法人営業担当）	・諸物価の上昇はこれから本格的になるという予想もあるため、企業も含めて家計は非常に厳しくなり、財布のひもはますます固くなる。まん延防止等重点措置は解除されたが、家計を圧迫する環境が増大しているため、変わらないか今よりも下がっていくと思う。
<input type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	・現状が持続する。
<input type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの新規感染者数が減少する傾向がしばらく続くと思われ、外出や遠出する人の増加傾向は当面継続すると予測している。今後も売上は徐々に回復していき、前年を上回る状況も継続していくと予測する。

□	新聞販売店 [広告] (店主)	・石油などの価格高騰により商品が値上がりしているため、消費者は出費を抑えると予想されるため、チラシなども増えてはいかないと思われる。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業 (顧問)	・新型コロナウイルス感染症も収束には向かっているが、やはり景気への影響は大きい。また、原油高、円安、原材料の値上がり分の販売価格への反映は非常に難しく、さらに、ウクライナ情勢による影響も現状より大きくなりそうで、景気はやや悪くなると思う。
▲	化学工業 (営業担当)	・更にプラスチック原料価格は高騰し、収益がひっ迫する見込みである。
▲	窯業・土石製品製造業 (社員)	・原料の値上がりが激しく、客と交渉して製品価格に転嫁しているが、また更に上がる上に供給が不安定で入手できない可能性もある。今後、原料の供給不安が足かせとなりそうである。
▲	金属製品製造業 (従業員)	・ウクライナ情勢に端を発したステンレスの原料でもあるニッケル国際相場の暴騰ともいえる混乱により、経験のないような価格上昇に直面している。仕入先も同業者も、どうしたらよいか分からず立ちすくんでいるような状態となっている。
▲	一般機械器具製造業 (経理担当)	・鋼材の価格高騰から、やや悪くなる。
▲	電気機械器具製造業 (総務担当)	・半導体不足に加え、特に4月以降の急激な円安が今後の原材料価格にどのように影響するかによる。これ以上の利益圧迫は、中小企業にとって厳しい。
▲	建設業 (役員)	・建設業としては物価の上昇でコスト高が否めない。今後の受注にも影響がある。住宅販売に関しても、特に当地域では地価が上昇し、販売価格の上昇に伴って客の動きも悪い。
▲	輸送業 (従業員)	・燃料を始め各種経費の値上げと流通が止まっている各種原材料などを考えると、製造業の荷主は稼働したくてもできないという話を聞く。新型コロナウイルスもまだ完全に収まったわけではないので、当面良い兆しはみえないと思う。
▲	輸送業 (エリア担当)	・趣味やレジャーといった遊興費の節約は、家計で真っ先に手が付けられる支出項目であると思う。ゴルフ練習場に通う人数が減ったり伸び悩んだりしている様子からも、家庭での遊興費の削減が見受けられる。こういったところから切り詰めていくことが社会全体につながっているとすれば、経済は先細りしていくのではないかな。
▲	通信業 (法人営業担当)	・ゴールデンウィークに旅行を計画したが、旅費が高すぎて諦めた。ロシアとウクライナの戦争が長引いているため、ロシア上空を飛ぶ旅客機は軒並み航路変更を余儀なくされ、通常の3倍程度の価格となっている。このように人々の外出したい気持ちにストップが掛かると、景気はますます冷え込むと思われる。
▲	金融業 (企画担当)	・仕入先からの値上げ要請が相次いでおり、販売先との関係で価格転嫁できる企業は良いが、転嫁できない企業も多いと思われる。これにより景気はやや悪くなっていくように感じる。
▲	不動産業 (開発担当)	・工事費が高止まりするようであれば不動産価格の上昇は避けられず、賃金上昇が上回らない限り、景気は下降する可能性がある。
▲	公認会計士	・コロナ禍により中堅中小企業のバランスシートは傷んでおり、短期的な解決はできない。円安からの出口がみえない。中堅中小企業の後継者不足の問題解決にも時間が掛かる。
▲	その他サービス業 [ソフト開発] (社員)	・いずれ値上げの方向となるので、一部の受注に影響する可能性がある。
×	出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響と給料が上がらないなかでの物価上昇など悪い材料ばかりで、景気が上向きになる材料はない。まだまだ景気は良くならず、下がっていくと思う。
×	鉄鋼業 (経営者)	・今年度も最大手鉄鋼メーカーが中小事業者向けにだけ大幅な値上げを断行してきた。前年からの累計では、大手自動車メーカーへの値上げは1キログラム当たり40円のもの、我々には90円と2倍以上の金額差となっており、明らかにおかしい販売を続けている。中小企業潰しを大手メーカーが率先している。
×	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・資源調達の見込みが立たない。海陸運送業も含めて4月以降の景気は悪化すると思う。5月予定は既に1割ダウンしている。

	×	輸送用機械器具製造業 (管理担当)	・まだまだ続きそうなウクライナ情勢と値上げで、景気回復のめどがない。
	×	会計事務所(職員)	・原材料が値上がりするなか円安も加速して一気に進み、仕入価格は高騰している。売上を伸ばしたいが、消費者の可処分所得も増加していない状況では、粗利を確保することがますます難しくなっている。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—
	○	職業安定所(職員)	・管内企業の求人動向から、やや良くなる。
	○	職業安定所(職員)	・求人数が増加し、求職者数が減少するなか、雇用保険の受給手続をする人や受給者も減少し始めている。
	○	民間職業紹介機関(営業担当)	・ボーナス支給後の転職を見据えて、ゴールデンウィーク明け以降に潜在している転職希望者が動き出す。
	□	人材派遣業(営業担当)	・ゴールデンウィーク後の新型コロナウイルス新規感染者数の状況で変動はするものの、ウクライナ情勢による物価高騰の影響が大きく、回復の見込みは薄い。
	□	人材派遣会社(社員)	・ゴールデンウィーク後の新型コロナウイルスの新規感染者数が増加すれば、再び求人数が減り、新規感染者数が足元以上に減少すれば、求人数は増える。
	□	人材派遣会社(営業担当)	・求人数は増加傾向にあるが、求職者とのアンマッチが引き続き増えていくとみられる。
	□	人材派遣会社(営業担当)	・ウクライナ情勢や円安等の影響が懸念される。
	□	新聞社[求人広告](営業担当)	・新型コロナウイルスの影響は、慣れもあるのか落ち着いてきたと思われるが、ロシア・ウクライナ問題による世界経済の混乱もあり、大幅な景気回復は見込めない。
	□	新聞社[求人広告](営業担当)	・ウクライナ危機の影響が間接・直接的にいろいろな業種で出始めている。長期化する可能性もあり、景気的には一進一退の状況が続くとみる。
	□	職業安定所(職員)	・徐々にではあるが新規求人数も増加を続けており、一部サービス業においては人手不足を見込んで求人票を提出し、半導体不足により業務を制限していた企業も徐々に回復しつつある。その一方で、いまだ続くコロナ禍の影響やロシアのウクライナ侵攻等による原材料の価格高騰、重油価格の高止まり、円安の加速、商品の値上げ等、先が見えない状態が続く。
	□	職業安定所(職員)	・求人倍率の改善傾向は続いているものの、新型コロナウイルスの感染状況の高止まりや第7波の可能性、為替の円安傾向、ウクライナ情勢等の影響による原油を始めとする各種物価の上昇が景気に与える影響が懸念され、不透明感が増している。
	□	職業安定所(職員)	・景気は少しずつ改善しつつあるが、新型コロナウイルス感染症とウクライナ情勢の状況が景気の動向に今後影響する可能性があると考えられる。
	□	民間職業紹介機関(窓口担当)	・足元では時節柄、人の流動化に乗って順調な求人数の推移だが、この後はゴールデンウィークに入ることで例年どおり少しブレーキが掛かると予測される。ただし、客先業界では実際の景気より遅れて求人数に反映されることから、即ということではなく3か月程度後からとなる予想である。
	▲	人材派遣会社(企画統括)	・エネルギー関連の値上げによる物価上昇への影響が出てくる。
	▲	人材派遣会社(営業担当)	・ロシアのウクライナ侵攻が長期化しているため、原価高による主要客の部材調達への影響が出て、外部人材活用への投資にもストップが掛かる可能性もある。
▲	アウトソーシング企業 (エリア担当)	・自動車関連においては、半導体・部品供給不足問題の長期化に加え、ロシア・ウクライナ情勢の影響で材料価格の高騰やエネルギー費の上昇が懸念され、収益状況が悪くなると予想する。	
▲	職業安定所(職員)	・原材料費や燃料費の高騰により物価が上昇しており、当面は現況が続くと思われる。	
	×	—	—